番号	54	八菩薩		
所在地		伊万里市二里町中里乙　ＭＲ金武駅横		
災害別		昭和２３年（１９４８）水害		
目的別		慰　霊	建立年	昭和３８年７月
特記事項				

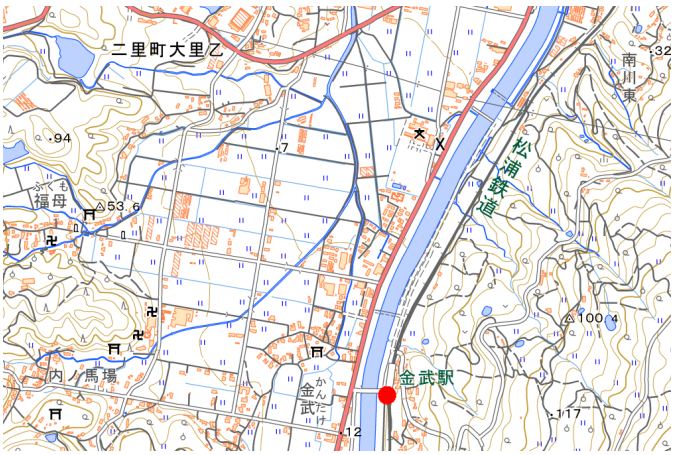
ＭＲ金武駅横の敷地に建つ「八菩薩」。同じ敷地内には、「橋梁架橋記念」（別項）の碑や「水天宮」（別項）などが建っている。

伊万里・有田地域は、昭和２３年９月１１日夜９時過ぎから翌１２日の未明にかけて大洪水に見舞われ、これは、文政１１年（１８２８）９月１７～１８日の「子年の大風」（通称シーボルト台風）以来、１２０年ぶりの惨禍とも言われた。

この「八菩薩」は、この水害で犠牲になった二里町大道地区の８名の方々を慰霊するため建てられたものといわれる。もともと別の場所にあったものが、昭和４２年７月の水害で流され、今の場所に再建されたという。側面に「昭和三十八年七月建立　金武區」と刻んである。また、背面には、墓石の棹石らしきものが置かれているが理由は不明。

「二里町誌」（平成２５年３月発行　Ｐ１４８～１４９　二里町誌編纂委員会）には、「昭和２３年９月１１日の大水害では大道だけで死者８名、流失家屋６戸、半壊家屋１３戸の被害を受けました。この水害で尊い生命をなくされた８名の霊を弔うため建立された八菩薩の碑が、昭和４２年の水害で流されましたが、その後金武駅横に再建され区民の方々に

よって祭られています。」と記されている。



国土地理院電子国土 Web